

令和6年度（2024年度）
第3回以降（6月実施分以降）

危険物取扱者試験案内

* 第3回(6月実施)以降の試験は、試験手数料が改定となります。
* 9ページの「10 試験手数料の払込み」をご確認のうえ、改定後(第3回以降)の試験手数料の払込みをお願いします。(石川県支部ホームページ等でもお知らせしています。)

危険物取扱者免状の種類

免状の種類	取り扱うことのできる危険物		
甲種	すべての種類の危険物（消防法第2条第7項に定めるもの）		
乙種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類 など
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム など
	第3類	自然発火性物質 及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん など
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類 など
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物 など
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸など
丙種	引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油 など (乙種第4類の危険物のうち指定されたもの)	



一般財団法人
消防試験研究センター
石川県支部

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/17ishikawa/>

* 試験案内は、最後までよく読んで、記載されている内容を確認したうえで申請してください。
申請された方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

(作成基準日：令和6年3月31日)

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、石川県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験日、試験の種類、受験地、受付期間

令和6年度（2024年度）に実施する危険物取扱者試験の日程は、以下の表のとおりです。

* 試験日時、試験会場等に変更となる場合があります。必ず最新情報をご確認ください。

→ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/17ishikawa/>

* 七尾市（6月30日、9月29日、12月15日）、輪島市及び加賀市（7月28日）で実施を予定していた試験は、全て中止となりました。



回	試験日		開始時刻・種類		受験地 (試験会場)	受付期間 * 第2回以降の試験は、電子申請と書面申請が同一の受付期間です。
	月	日(曜日)	10:00～	14:00～		
第1回	令和6年(2024年)					令和6年(2024年) (電子申請) 3月4日(月)～3月11日(月) (書面申請) 3月7日(木)～3月14日(木)
	4月	21日(日)	乙種第4類	全種類	金沢市 (県地場産業振興センター)	
		27日(土)	乙種第4類	全種類	小松市 (小松市民センター)	
第2回	5月	26日(日)	乙種第4類	全種類	金沢市	4月11日(木)～4月18日(木)
第3回	6月	23日(日)	乙種第4類	全種類	金沢市	5月9日(木)～5月16日(木)
第4回	7月	21日(日)	乙種第4類	全種類	金沢市	6月6日(木)～6月13日(木)
第5回	8月	9日(金)	乙種第4類 丙種	...	金沢市	6月27日(木)～7月4日(木)
第6回	8月	24日(土)	乙種第4類	全種類	金沢市	7月11日(木)～7月18日(木)
第7回	9月	23日(月・祝)	乙種第4類	全種類	金沢市	8月8日(木)～8月15日(木)

* 午後に全種類の試験を実施する試験日においては、午後に乙種第4類を受験することができます。この場合、書面により申請を行い、受験願書の受験地欄に「〇〇市 午後」と記載してください。(出願状況により、ご希望に沿えない場合があります。)


* 午前のみ試験を実施する試験日については、出願の状況により午後の試験となる場合があります。


回	試験日		開始時刻・種類		受験地	受付期間 *電子申請、書面申請とも同一の受付期間です。
	月	日(曜日)	10:00~	14:00~		
第8回	10月	20日(日)	乙種第4類	全種類	金沢市	9月5日(木)～9月12日(木)
		27日(日)	乙種第4類	全種類	小松市	
第9回	11月	6日(水)	乙種第4類 丙種	...	金沢市	9月24日(火)～10月1日(火)
第10回	11月	16日(土)	乙種第4類	全種類	金沢市	10月3日(木)～10月10日(木)
第11回	12月	21日(土)	乙種第4類	全種類	金沢市	11月7日(木)～11月14日(木)
第12回	令和7年(2025年) 1月	18日(土)	乙種第4類	全種類	金沢市	12月5日(木)～12月12日(木)
第13回	2月	15日(土)	乙種第4類	全種類	金沢市	令和7年(2025年) 12月26日(木)～1月9日(木)
第14回	2月	26日(水)	乙種第4類 丙種	...	金沢市	令和7年(2025年) 1月16日(木)～1月23日(木)
第15回	3月	16日(日)	乙種第4類	全種類	金沢市	2月6日(木)～2月13日(木)
		23日(日)	乙種第4類	全種類	小松市	

* 午後に全種類の試験を実施する試験日においては、午後に乙種第4類を受験することができます。この場合、書面により申請を行い、受験願書の受験地欄に「〇〇市 午後」と記載してください。(出願状況により、ご希望に沿えない場合があります。)


* 午前だけに試験を実施する試験日については、出願の状況により午後の試験となる場合があります。

【試験会場】 *QRコードを読み込んで地図を表示するためには、Google マップを表示できる環境が必要です。

<p>金沢市 石川県地場産業振興センター (金沢市鞍月 2-1)</p> 

<p>小松市 小松市民センター (小松市大島町丙42-3)</p> 
--

2 受験申請の方法、受付場所

受験申請の方法		受付期間（時間）	受付場所等
電子申請		受付開始日の午前9時から 受付最終日の午後11時59分まで * 第1回試験のみ、受付最終日の午後5時まで * 受付期間中は、24時間手続き可能 （システムのメンテナンス時間を除く）	消防試験研究センターのホームページから、電子申請のページへ → https://www.shoubo-shiken.or.jp 
書面申請	窓口持参	受付期間（土・日・祝休日を除く）の 午前9時から午後5時まで	（問い合わせ先、願書提出先） 〒920-0901 石川県金沢市彦三町2-5-27 （名鉄北陸開発ビル7階） 一般財団法人 消防試験研究センター 石川県支部 電話 076-264-4884 FAX 076-232-2171
	郵送	受付最終日の消印有効 * トラブルを防ぐために、簡易書留 をご利用ください。	

* 電子申請については、8ページの「8 受験手続き」をご参照ください。

* 受験願書は、石川県支部、石川県消防保安課、石川県内の各消防本部（局）・消防署等で入手できます。

* 受験願書の様式は全国共通です。他都道府県で入手した受験願書もそのままご利用いただけます。

（他都道府県支部あての願書提出封筒はご利用いただけません。必ず石川県支部あてに提出願います。）

3 危険物の種類、免状の種類及び取り扱うことのできる危険物

表紙「危険物取扱者免状の種類」のとおり

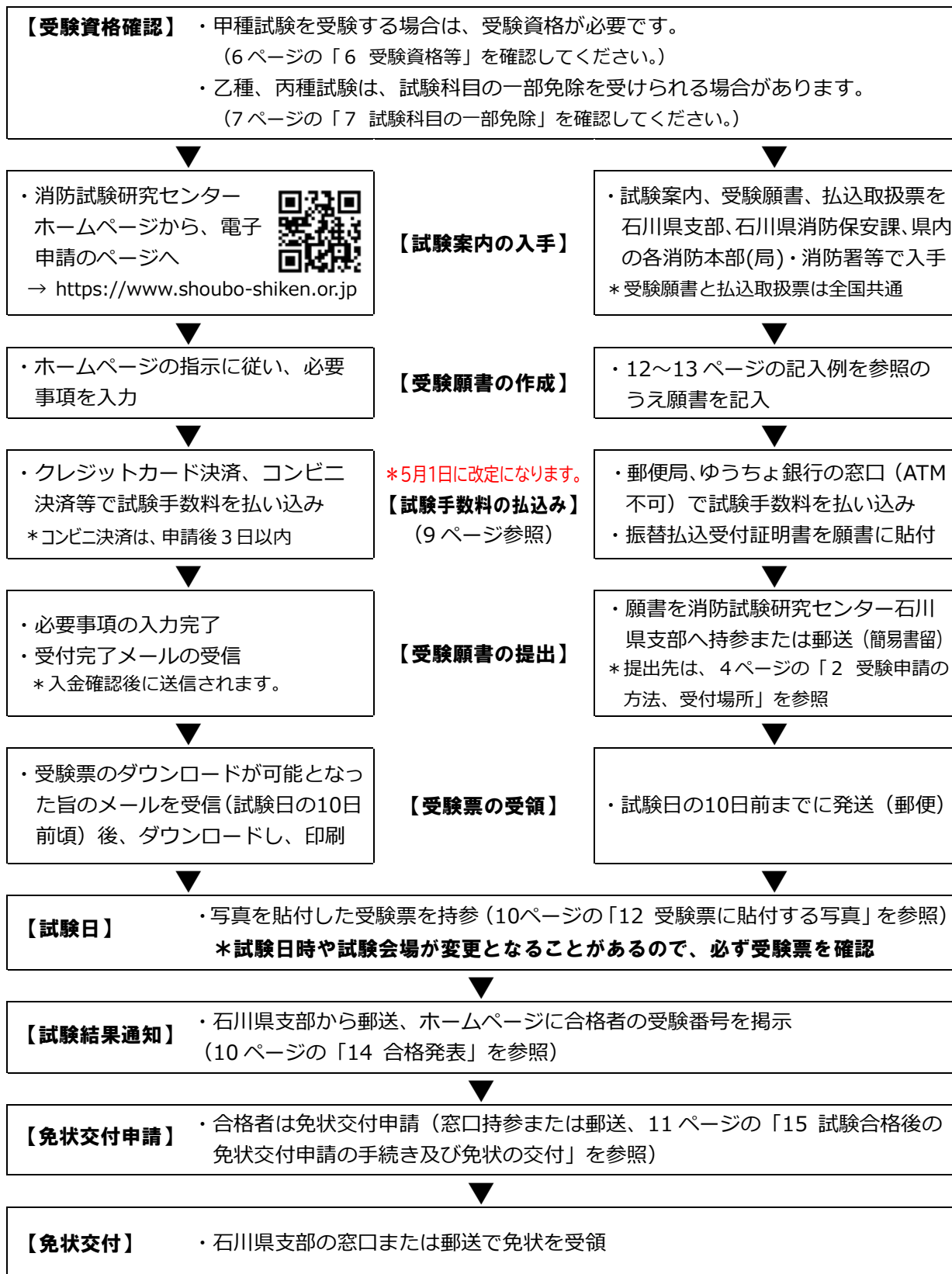
4 試験種類毎の試験科目、試験時間等

種類	試験科目（ ）は略称	試験の方法	問題数	試験時間	
甲種	①危険物に関する法令（法令）	5 肢択一式	45問	15問	2 時間30分
	②物理学及び化学（物化）			10問	
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）			20問	
乙種	①危険物に関する法令（法令）	5 肢択一式	35問	15問	2 時間
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）			10問	
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）			10問	
丙種	①危険物に関する法令（法令）	4 肢択一式	25問	10問	1 時間15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）			5問	
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）			10問	

5 受験願書の入手から免状交付までの流れ

電子申請

書面申請



* 同一試験日に複数種類を受験する場合は、電子申請できません。書面申請で手続きしてください。(詳細は、9 ページの「9 複数種類の受験」をご確認ください。)



6 受験資格等

- (1) **甲種危険物取扱者** *詳細は、<https://www.shoubo-shiken.or.jp/kikenbutsu/annai/qualified.html>
 受験資格を証明するための書類は、下表の「証明書類」欄を参照し、提出してください。

対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称 *備考1	証明書類
① 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） *備考6	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 *備考2	大学等卒	卒業証書の写しまたは卒業証明書の原本（学科等の名称が明記されているもの）
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科		
	高等学校・中等教育学校の修業年限が2年以上の専攻科		
	防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
	専門職大学の前期課程を修了		
② 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 *備考3、備考6	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校 *備考2	15単位	単位修得証明書の原本または成績証明書の原本（修得単位が明記されているもの）
	高等専門学校（専門科目に限る）		
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科		
	防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
③ 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状の写し及び実務経験証明書 *備考4
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ・第1類 または 第6類 ・第2類 または 第4類 ・第3類 ・第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状の写し
④ 修士・博士の学位を有する方 *備考6	修士・博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む）	学位	学位授与証明書の原本または学位記の写し（専攻等の名称が明記されているもの）

*備考

- 受験願書A面の「甲種受験資格」欄に、この表の「願書資格欄記入略称」を記入してください。
- ①、②の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。
 - ・ 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 - ・ 専門課程の修業年限が2年以上、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書面
- ②の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学または通信教育等にかかわらず、通算することができます。放送大学も同様に通算できます。
- ③の「実務経験証明書」は、事業主（会社）等の証明です。受験願書B面裏の様式を使用して直接記入押印してください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票（控）または試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます（コピーでも可）。
- 化学に関する学科及び授業科目については、14～15ページの「化学に関する学科等の例」及び「化学の授業科目の例」を参照してください。
- 受験資格やその証明書類については、受付期間前でも確認いたします。早めにお問い合わせください。

(2) 乙種及び丙種危険物取扱者

受験資格は、必要ありません。

7 試験科目の一部免除

(1) 甲種危険物取扱者

試験科目の一部免除はありません。

(2) 乙種危険物取扱者

- 乙種危険物取扱者免状を有する方は、試験科目の「法令」「物化」の全部が免除となります。受験願書の科目免除欄を記入し、取得している免状の情報を記載のうえ、危険物取扱者免状のコピーを受験願書B面裏の所定欄に貼付してください。
- 第1類または第5類の受験者で火薬類免状を取得している方は申請により、「物化」の一部、「性消」の一部が免除になります。免除を希望する場合は、受験願書の科目免除欄に記入し、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の所定欄に貼付してください。

* 火薬類免状は次の免状を意味します。

甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

免除資格者		対象の類	試験科目	免除内容	問題数		試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	該当者 全員	第1類 、 第6類	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
			② 物化	全部免除	0問		
			③ 性消	なし	10問		
火薬類免状を有する科目免除申請者	希望者	第1類 第5類	① 法令	なし	15問	24問	1時間30分
			② 物化	一部免除	4問		
			③ 性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ、火薬類免状を有する科目免除申請者	希望者	第1類 第5類	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
			② 物化	全部免除	0問		
			③ 性消	一部免除	5問		

*備考 ①法令：危険物に関する法令

②物化：基礎的な物理学及び基礎的な化学

③性消：危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法

(3) 丙種危険物取扱者

- 消防団員として勤務し、消防学校の教育訓練を修了した方は、申請により「燃焼及び消火に関する基礎知識」の全部を免除します。
- 免除を受ける方は、受験願書の科目免除欄に記入し、証明書類を所定欄に貼付してください。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数		試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育または専科教育の警防科を修了した方	①危険物に関する法令	なし	10問	20問	1時間
	②燃焼及び消火に関する基礎知識	全部免除	0問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	なし	10問		

8 受験手続き

受験申請の方法は、電子申請と書面申請の2通りがあります。

***令和6年度中(年度途中、時期未定)に、電子申請の対象となる範囲が拡大され、以下の対応が変更される見込みです。変更の内容及び期日が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。**

(1) 電子申請

下表の要件を満たす場合は、電子申請することができます。ただし、同一試験日に複数種類を受験する場合は電子申請できません。

詳細は、一般財団法人消防試験研究センターホームページをご覧ください。

(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)

種類	電子申請できるもの(要件)	特記事項
甲種	次により受験資格の確認ができる場合 ・乙種免状(指定された4種類以上)を有している方 ・過去3年以内に受験し、再度受験する方	左記に該当する場合でも、同一試験日に複数種類を受験する場合は電子申請できません。
乙種	免除なし 全類で電子申請できます。	
	免除あり 次により免除資格の確認ができる場合 ・乙種免状を有している方 ・過去3年以内に受験し、同じ試験種類を再度受験する方	
丙種	免除なし 電子申請できます。	
	免除あり 次により免除資格の確認ができる場合 ・過去3年以内に受験し、再度受験する方	

*電子申請に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝休日を除く)

問い合わせ先 一般財団法人消防試験研究センター 電子申請室

専用電話(全国共通) 0570-07-1000 (有料)

(2) 書面申請 *電子申請の要件を満たさない方、書面による手続きを希望する方は書面申請をご利用ください。

受験する種類(乙種危険物取扱者試験を受験する場合は類)ごとに、受験願書が必要です。

- ・12～13ページの「受験願書記入例」を参照して受験願書を記入し、試験手数料の「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書B面に貼付してください。
- ・既に、「危険物取扱者免状」を取得している方は、既得免状のコピーを受験願書B面裏下部に貼付してください。(裏面のコピーも貼付してください。)
- ・受験資格の確認や試験科目の一部免除を受けるために必要な書類については、以下の表で確認のうえB面裏上部の所定欄に貼付してください。

甲種危険物取扱者試験を受験する方	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書や成績証明書などの証明書は、原本を提出してください。 ・卒業証書、免状等は、コピーを提出してください。(縮小コピー可) ・実務経験2年以上の証明は、受験願書B面裏の様式を使用してください。 ・過去に甲種の試験を受験したときの受験票、受験票(控)または試験結果通知書(いずれも資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る)を提出することで、甲種の受験資格の証明に代えることができます。(コピー可)
乙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける方	<ul style="list-style-type: none"> ・乙種危険物取扱者免状のコピーを提出してください。 ・火薬類免状による免除を希望する方は、火薬類免状のコピーを提出してください。 *7ページの「7 試験科目の一部免除」を参照
丙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける方	<ul style="list-style-type: none"> ・「5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」(消防団長等が証明するもの)及び「消防学校の基礎教育または専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」(消防学校長が証明するもの)を提出してください。 *7ページの「7 試験科目の一部免除」を参照

9 複数種類の受験

*同一試験日に複数種類を受験する場合は書面申請してください。(電子申請できません。)
*異なる試験日に複数種類を受験する場合は、電子申請もできます。

(1) 複数受験 (同一試験時間帯に2種類の試験を受験する場合)

既に乙種危険物取扱者免状を有する方は、同一時間帯に、他の乙種(第4類を除く)の試験を2種類まで同時に受験することができます。試験時間は1時間10分です。

(2) 併願受験 (試験日または試験時間帯が異なる試験を受験する場合)

同一受付期間で、試験日または試験時間帯が異なる場合は、何種類でも受験できます。

※複数受験、併願受験ともに、試験の種類ごとにそれぞれ受験手続き(試験手数料の払込み、受験願書の提出)が必要です。書面申請の場合は、願書を一つの封筒にまとめて提出してください。

10 試験手数料の払込み

試験手数料(消費税非課税)は次のとおりです。

区分	甲種	乙種	丙種
第1回及び第2回	6,600円	4,600円	3,700円
第3回以降	7,200円	5,300円	4,200円

*令和6年5月1日に試験手数料が改定され、その後の受付となる試験(第3回)から、改定後の試験手数料が適用されます。

*試験手数料は、受験する種類(乙種は類)ごとに必要です。

(1) 電子申請の場合 *同一試験時間帯に複数種類の試験を受験する場合は電子申請できません。

払込み方法は、次の3種類から選択できます。

払込手数料は、1件230円(消費税込み)です。

決済方法	決済内容
ペイジー (Pay-easy)	情報リンク方式、オンライン方式
コンビニエンスストア	セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート
クレジットカード	VISA、マスターカード、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース

(2) 書面申請の場合

- 受験願書と一緒に配付している**本試験専用の「払込取扱票」**を使って、郵便局またはゆうちょ銀行の**窓口**で試験手数料を払い込んでください。

払い込みには、所定の払込手数料(申請者負担)が必要になります。

*ATMの「ご利用明細票」では受け付けできません。誤ってATM(自動払込機)で払い込んだ場合は、郵便局等の窓口でATM利用明細票を提示のうえ、別途、「振替払込受付証明書(お客さま用)」に日附印を受けられるか、お尋ねください。

- 日附印が押された「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受験願書B面に貼付してください。「振替払込請求書兼受領証」では受け付けできません。
- 複数種類を受験する場合は、それぞれ払い込みし、それぞれの受験願書B面に「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼付してください。

11 受験票について

試験当日、必ず本人確認できる写真（次項参照）を貼付し、受験者自身が氏名を記入した受験票を持参してください。

受験票を持参しない、写真を貼っていない、本人確認できない写真を貼っているなどの場合は、受験できません。

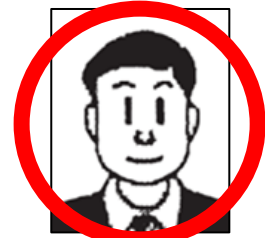
電子申請の場合	<ul style="list-style-type: none"> 試験日の10日前までに、（申請時に入力された電子メールアドレスあてに）受験票のダウンロードが可能となった旨のメールを送信します。 受験者本人が受験票をダウンロードして印刷してください。
書面申請の場合	<ul style="list-style-type: none"> 受験票は、試験日の10日前までに郵便はがきで発送します。（配送には2日程度かかります。） 試験前に受験票の記載事項を確認してください。 受験票が届かない場合は、試験日の4日前までに当支部までお問い合わせください。

12 受験票に貼付する写真

受験票の写真は、受験時の本人確認及び合格した際の免状用写真として使用します。以下の条件に適合する写真を剥がれないように受験票に貼付してください。

写真サイズ	・縦 4.5cm×横 3.5cm
人物サイズ	・正面、上三分身像（胸から上の写真、顔の大きさが過大・過小でない（顔の輪郭が分かる）もの）
撮影時期	・受験日の6か月以内
背景等	<ul style="list-style-type: none"> 無背景（受験者以外が写っていないもの） 無帽（宗教上、医療上の理由がある場合を除く）
貼付方法	・糊付け ＊セロハンテープや接着剤は使わないでください。
品質	<ul style="list-style-type: none"> 証明写真品質（カラー・白黒を問わない） 自分で印刷する場合は、写真専用紙に鮮明な写真を印刷してください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 次のような写真は不適切です。 不鮮明、表面にキズ、サングラスやマスク着用、眼鏡・フレームの反射、頭髪で目が隠れている、目を閉じている、口が開いている、加工されているなど

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



13 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験はいずれも、試験科目ごとの正答がそれぞれ60%以上必要です。（試験科目の免除を受けた場合は、免除を受けた科目以外で60%以上必要です。）

なお、乙種第1類または第5類の受験者で、火薬類免状による試験科目の一部免除を受けた場合は、免除されていない問題数で上記の基準を満たした方が合格となります。

14 合格発表

(1) 合格発表は、試験日の約3週間後です。

合格者の受験番号を石川県支部に公示するとともに、受験者全員に郵便はがきで合否の結果を直接通知します。また、当センターのホームページに合格者の受験番号を掲載（公示日の正午過ぎ）します。

なお、電話による合否の問い合わせには、お応えできません。

(2) 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターとは、一切関係ありませんのでご注意ください。

15 試験合格後の免状交付申請の手続き及び免状の交付

(1) 申請の方法

合格された方は、指定の日（試験結果通知書に記載）までに次の書類等を当支部へ提出（窓口持参 または 郵送（簡易書留））してください。

(2) 提出する書類等（詳細は、試験結果通知書に記載）


- ・免状交付申請書及び試験結果通知書（切り離さないでください。）
- ・交付手数料（石川県証紙2,900円分）＊石川県証紙の入手が困難な方は現金書留で送ってください。
- ・既に取得している危険物取扱者免状
- ・簡易書留郵送料分の切手を貼った定形封筒（新免状送付用）＊支部窓口で受け取る場合は不要です。

16 その他の注意事項

- ・受付期間外（受付開始前、受付終了後）に提出された申請書類や、内容に不備がある申請書類については、受け付けできませんので、当該書類を返却いたします。（送料は申請者負担）
- ・提出された申請書類に確認が必要となる事項がある場合は、電話で問い合わせることがあります。一般財団法人消防試験研究センター石川県支部の電話番号（076-264-4884）を着信できるよう電話機の設定をお願いします。
- ・受け付けされた申請書類、払い込まれた試験手数料は、お返しできません。
- ・心身の事情により、対応・配慮を希望する場合は、受験申請時にお申し出ください。（会場の都合等により希望に沿えない場合もあります。）
- ・受験者は、試験当日、受験票に記載された集合時刻までに集合し、係員の説明をよく聞いたうえで受験してください。（試験日時や試験会場が変更となることがありますので、必ず受験票を確認してください。）
- ・試験当日は、写真を貼った受験票、鉛筆・シャープペンシル（HB または B）、プラスチック消しゴムを必ず持参してください。計算機、定規類や、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器は使用できません。（カバン等に片付けてください。）
- ・試験会場によっては、駐車場に限りがありますのでご注意ください。
また、試験室に時計がない場合や座席から時計が確認できない場合があります。必要に応じて、自身で時計を用意してください。（卓上に置ける大きさのもので、操作せずに時刻を表示でき、音（動作音を含む）を出さないものに限る。スマートウォッチ不可。）
- ・試験会場では、携帯電話など音の出る電子機器の電源を切ってください。
- ・不正行為や悪質な迷惑行為が認められた場合は、直ちに当該受験者の受験を中止、退室とし、試験は失格とします。
- ・本人確認のため、身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード等）の提示をお願いすることがあります。
- ・試験会場では、指定された場所以外での喫煙はできません。試験会場によっては全面禁煙のところもあります。
- ・一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習や参考書等の出版・販売は一切行っておりません。
- ・気象状況や大規模な事故、その他の事情等により試験日時や試験会場等が変更となる場合があります。変更の内容は、当センターのホームページに掲載しますので、受験前に必ずご確認ください。（試験当日、試験会場への電話によるお問い合わせはご遠慮ください。）

【受験願書記入例】

◆記入上の注意

- ・ 受験願書は、複写式になっています。
- ・ ※印の箇所は、記入しないでください。
- ・ 黒色のボールペン（消せるボールペン不可）を使用し、かい書で記入してください。
- ・ 訂正する場合は、横二本線で消し、上余白に正しく書いてください。 ➡ (訂正の例)
- ・ 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・  欄は該当する箇所に○を記入してください。

(訂正の例)
金沢
石川県 ~~中~~ 松市

◆複数の試験を受ける方は、それぞれに受験願書を作成し同一封筒で提出してください。

願書 A 面

濁点、半濁点は1マスを使用してください。

左詰めで記入してください。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

郵便番号は正確に記入してください。

記入欄の文字数が足りない場合は、郵便が届く程度に省略してください。

2～3ページの「1 試験日、試験の種類、受験地、受付期間」を確認のうえ記入してください。

甲種受験者は、6ページの記入略称を記入してください。

試験の一部免除の資格のある方は、該当する事項に○を付けてください。一部免除の資格のない方は記入しないでください。

複数種類を受験する場合は、複数の願書を作成し、それぞれの願書に他の種類を記入してください。

危険物取扱者免状の有無を記入してください。(必ずどちらかに○を付けてください。)

有の場合は、全て記入してください。

11 危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)

危

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名 **石川** 申請日 **令和 06 年 05 月 10 日**

申請者氏名 **ショウホウ** **タロウ**
氏名 **消防** **太郎**
フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左詰めで記入してください。

生年月日 **(大) (昭) (和) 50 年 04 月 23 日** 生 本籍 **石川** 都道府県コード **17**

郵便番号 **920-0901** 必ず記入してください 自宅電話番号 **090-0000-0000** 又は携帯電話番号

住所 **石川県金沢市彦三町** **消防石油販売株**
2-5-27 **連絡先電話番号(携帯電話も可)**
名鉄北陸開発ビル703 **076-264-4884**
内線()

試験日 **令和 06 年 06 月 23 日** ※1 メールアドレス(任意) @

試験種類 **甲種 - 第4類** ※2 受験 他都道府県での受験申請状況
受験地 **金沢市** ※3 資格 都道府県 試験種類 試験日
13 **甲種 - 第4類** **06月17日**

甲種受験資格 **受ける** 該当する職業等に1つだけ○を記入してください
火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を **(受ける)** ① 高校生 ⑦ 危険物を扱うその他の事業
② 以外の学生、教育研究機関 ⑧ 公務員
③ ガソリンスタンド ⑨ 警備業
④ 化学工業 ⑩ ビル管理業
⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他
⑥ 危険物の運送業

科目免除 **(受けていない)** ※4 免除
(受けている) ※5 複数
(該当する) ※6 併願

同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること **甲種 - 第4類**

免状取得の有無について記入してください **○** 免状番号 **1174 1200 1234**

取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和3 平成4 令和5)	免状交付年月日	交付番号	※入力番号	交付知事	コード
甲						
乙1						
乙2						
乙3						
乙4						
乙5						
乙6						
丙	4	12 年 07 月 09 日	01234		石川	17

※団体コード ※受付機関コード ※分類コード ※

(A面) 試験センター発行 506

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入してください。石川県は「17」です。

平日の日中に連絡が取れる電話番号を必ず記入してください。

書類に不備があった場合等の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。(携帯電話アドレス可) 迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くようドメイン指定受信等の設定をしてください。(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)

試験日の前3か月以内に他都道府県で申請または受験した場合は、記入してください。3種類以上あり、この欄に書ききれない場合は連絡してください。

主たる職業等に○を付けてください。

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入してください。石川県は「17」です。



【化学に関する学科等の例】

1. 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
2. 次の表に示す学科又は課程等

ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工工学科		生物資源利用工学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物科学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤科学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科		有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ユ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	ヨ	林産工学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科	リ	林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

【化学の授業科目の例】

1. 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
2. 次の表に示す授業科目

ア	アモルフラス物性工学	カ	化工流体工学	キ	金属の相変態	コ	抗生物質
	安全管理学		化石エネルギー		金属表面処理		厚生薬学
	安全工学		火薬学		金属物性		合成薬品製造学
	安全防災工学		ガラス工学	ケ	計算溶液特論		構造用金属材料
イ	移動現象論		ガラス材料		結晶回折		酵素利用学
	移動速度論		ガラス状態論		結晶材料工学		銅中非金属介在物
	医薬品安全性学		ガラス物性		結晶評価工学		鉱物学
	医薬分子設計学		環境汚染物質分析学		原子エネルギー工学		高分子科学
	医用高分子機能学		環境物質工学		原子核工学		高分子学
エ	衛生工学		感光物性論		原子力工学		高分子工学
	衛生薬学		岩石学		原子炉材料学		高分子合成
	栄養学		官能基変換論		原子炉燃料		高分子構造
	エレクトロセラミクス		機器分析	コ	高温材料		高分子固体構造論
	エレクトロニクス材料工学	キ	機能高分子学		高温反応工学		高分子コロイド科学
	応用プロセス工学		機能性高分子材料学		光学活性体合成論		高分子材料学
オ	回折結晶学		機能性材料工学		高機能材料特論		高分子反応
カ	界面工学		機能性触媒工学		高機能材料プロセス特論		高分子物性論
	界面制御学		機能性有機材料		工業火薬学		固相変態論
	界面電子工学		機能セラミック論		工業材料		固体反応
	界面物性		凝固論及び結晶生成		工業排水処理		固体表面科学
	科学史		金相学		工業爆薬学		固体物性論
	核燃料工学		金属学		工業反応速度論		固体平衡論
	核燃料サイクル特論		金属加工学		工業微生物学		コロイド学
	核融合概論		金属工学		工業分析		細胞培養学
	核融合工学概論		金属材料学		格子欠陥	サ	材料解析
	化工熱工学		金属材料工学		公衆衛生学		材料開発工学
	化工熱力学		金属製錬学		高重合反応		材料科学
	化工物理学		金属組織学		合成鉱物		材料加工学

サ	材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理 色彩工学 染色実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論	セ	製薬学 生体活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論 相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 二 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 ノ ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学	ハ	培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醱酵学 醱酵工学 醱酵工業論 醱酵生産学 バルブ学 バルブ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 フ ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学	フ	分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉体工学 平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マ テリアル工学 ミ 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論 ム 無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 メ モ 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学工学 木質資源工学 ヤ 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 ユ 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 ヨ 薬業工学 窯炉工学 リ 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レ オロジー
---	---	---	--	---	--	---	--

1. 授業科目名の前後に基礎、応用、論、序論、理論、各論、概論、特論等の名称の付くものは、同一の授業科目とみなします。
2. 上記表の科目は、化学の授業科目の例示です。化学の授業科目は頻繁に変更され、また、新規の授業科目も開講されており、上記表の科目以外にも化学に関する授業科目はあります。大学等において、「化学に関する授業科目」であることを明記した単位修得証明書を発行された科目については、修得した単位数として算入することができます。

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確かつ安全に取り扱います。

1 当センターが取り扱う個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名・学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。